

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	ツーリズム連携による地域農産物ファン創出事業	会計	一般会計	事業No.	407	施策順No.	13-005
		事業種別	政策・その他	予算科目	6-1-3-22-5		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり	課等名			農業課		
施策	13 地域内産業の多様な連携	事業期間	開始	21	終了		

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	都市部の消費者(特に中京方面)						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
	意図	愛知県人口			7414098	7408499	7420000	
対象をどう変えるか	意図	「南信州いいだ」の農畜産物のファンになってもらい継続購入してもらおう						目標達成度 A
	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	
		産地ツアーで来販した都市部消費者(人)			157	150	171	192
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	昨年度の試行実施内容を受けプログラム内容の拡充を図ったことにより、参加者数も増えリピーターも多く参加した。名古屋のアンテナショップを起点として南信州へ訪れる機会となっており、着実に南信州ファンの増加に繋がった。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	南信州マーケティングショップにおける観光誘客マーケティングの一環として、ショップで人気の高い農産物の生産現場をステージにした収穫・体験と農家交流をメインプログラムに「南信州の食」をテーマにした食育産地ツアーの試行を南信州観光公社と連携して実施している。当ツアーは、適正原価を基にした料金設定で、交通費、体験料、土産代、手数料等が全て地元へ落ちることを基本とし、プログラムの充実を図ることで顧客満足度を高めることで格安ツアーとの差別化を図ることをコンセプトにしている。南信州マーケティングショップを起点とした募集・PRルートの開拓を行いツアーを実施している。 なお、合同事務所を開設後、みなみ信州農協と連携して、名古屋都市圏等で南信州産の農産物を販売している量販店等の店舗スタッフ及び消費者を対象にした産地体験ツアーを企画・実施してきたが、既に定着化してきたため、21年度からは農協事業に移管した。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 産地ツアー(有料参加型)の実施 (1)ツアーの企画・募集 (2)プログラムの立案、受け入れ体制づくり 2 参加者アンケートの実施	1 ツアーの実施回数 2 参加者アンケート	1 7ツアー 2 7回
23年度実施計画	1 産地ツアー(有料参加型)の本格実施 (1)ツアーの企画→南信州マーケティングショップを起点とした募集・PRルート開拓→ツアー実施 (2)プログラムの立案、受け入れ体制づくり 2 効果的で過大な経費を要しない募集ルートの開拓 3 参加者アンケートの実施	1 ツアーの実施回数 2 開拓ルート 3 回収数	1 8ツアー 2 2ルート 3 80件

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)				特定財源内訳、補足事項
		22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額		
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
	一般財源	200	200	200		
	計(A)	200	200	200		
	正規職員所要時間		50			
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)		179			
	トータルコスト A+B		379			

4 事業に対する市民や議会の意見

産地ツアーの参加者の満足度は高く好評であった。ツアーを契機としたリピーター層を増やしながら南信州農産物の消費ファンをつくることともに、南信州により多くの消費者を呼び込む体制づくりが必要。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	地域内産業が、多様な連携により新たな経済活動を創出する	施策の成果指標又はムトス指標	開発された観光プログラム数(累計)
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	こだわり農産物の産地を訪問し、収穫体験、農家交流、食体験をするツアーは農業と観光等の連携による取り組みであり、新たな誘客事業として固定的なファンも増え、農産物の生産販売拡大にも繋がる取り組みである。		
	後期に向けた課題	農業、観光、商業、工業など幅広い分野との連携による新たな経済活動の創出		
この事務事業の成果を向上させるためにどの ような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	名古屋における消費者インタビューや、参加者アンケートの毎回実施、アンテナショップ店員のモニター参加など、消費者の声を取り入れながら試行を繰り返しプログラムの充実を図ってきた。		
	後期に向けた課題	農業分野に限らず、農商工連携等による他の観光ツアーと差別化できるプログラムの充実		
コストを削減するためにどの ような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	ツアーノウハウの蓄積により年ごとに1ツアー当たりの委託単価の低減に努めてきた。		
	後期に向けた課題	南信州観光公社によるツアーの事業化による事業費や人件費の順次削減を目指す。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	食と農をテーマに、農業分野と観光分野や連携して新たな可能性を見出ししていくチャレンジ事業。本物の収穫体験、食体験、生産農家との交流をメインプログラムにしており、テーマとする農産物及び受け入れ農家の開拓・選定が生命線となる。一定程度まで受け入れ農家の開拓と、プログラム開発が進むまでは市が関与する必要がある。なお、ツアー参加者は全額自己負担である。		
	後期に向けた課題	ツアーの事業化に向け幅広いプログラム開発のためのノウハウの更なる蓄積と一般化		
多様な主体の役割の 発揮状況 ①その主体は誰で、 どのような役割を果 たしましたか。 ②その主体が役割を 発揮するために、行 政はどのような働き かけをしてきました か、又は、配慮して きましたか	4年間の振り返り	将来的には事業参画する者が主体となる。新たな可能性を見出ししていくチャレンジ事業であるため、現段階は南信州観光公社やみなみ信州農業協同組合、南信州広域連合と飯田市で連携して事業に取り組んだ。		
	後期に向けた課題	南信州観光公社やみなみ信州農業協同組合等と連携をとりプログラム開発などの取り組んでいる。行政として、関係機関と連携を取る中で、南信州の固定的ファンの増加に取り組みを支援してきている。		
全体を通じて	4年間の振り返り	適正原価を基にツアー料金を設定し料金が全て地元還元する仕組みを基本に実施した。このため、料金は高額となるが参加者の満足度は高く、リピートも多い。食をテーマにした観光ニーズは高まってきおり、プログラム内容により選択する層が確実にいることが実証できてきた。「南信州」を冠とする他社の旅行ツアーが催行されるなど、確実に南信州の認知度が上がってきている。		
	後期に向けた課題	農業分野に限らず、農商工連携等による他の観光ツアーと差別化できるプログラムの充実 ・情報を届けるための効果的なPRルートの更なる開拓		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	------------------------------------------	--------------------------------	----------------------------------------------